

ライオンズクラブ国際財団が視力ファーストを通じて取り組んできた視力保護 30 周年を祝う

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）は、視力ファースト交付金プログラムを通じた目の健康の向上と視力検査の増加への取り組み 30 周年を祝っています。

1990 年に開設された視力ファースト・プログラムは、眼科医療の不十分な地域の眼科医療システムを強化することで、その社会に、失明や視力低下と闘う力と、目の不自由な人々を援助する力を与えています。ライオンズは、医療関係者およびパートナー団体との協力のもと、視力ファーストを通じて、眼科医療サービスの提供、眼科医療専門家への研修の提供、既存の眼科医療システムのインフラの改善、アイヘルス教育やリハビリへのアクセスの向上など、世界中の 4 億 8,800 万人を超える人々の視力保護にインパクトを与えてきました。

視力ファースト・プログラム：数字で見る

- これまでに 112 カ国での 1,330 件余りの事業に対し 3 億 7,000 万ドルを超える視力ファースト交付金を交付
- 900 万件以上の白内障手術を実施
- 200 万人以上の眼科医療専門家や地域医療従事者に研修を提供
- 1,350 以上の眼科センターを建設、拡張、設備
- きれいな水が確保できない地域に見られ、治療をしないまま放置すると回復不能な失明を招く可能性がある、痛みを伴う目の感染症であるトラコーマの撲滅のため、1 億 8,500 万回投与分以上の薬を配布し、およそ 95 万件の手術を提供
- 感染した黒バエに刺されることで広がる寄生虫感染症である河川盲目症（オンコセルカ症）の進行をくい止めるため、3 億 2,500 万回投与分以上の薬を配布

視力ファーストの世界的に有名な戦略的パートナーである世界保健機関（WHO）およびカーター・センター、そして LCIF の視力関連パートナーであるスペシャルオリンピックスとジョンソン・エンド・ジョンソン・ビジョンとの連携により強化された LCIF、ライオンズ、視力ファーストは、世界中の何千万人もの人々に予防や治療、リハビリなどの眼科医療サービスを提供しています。

「世界中のライオンズが、私たちが世界の至るところで視力保護の分野にもたらしてきた偉大なインパクトを誇りに思っています」LCIF 理事長グドラン・イングバドターは述べています。「LCIF からの視力ファースト交付金を通じて、私たちはヘレン・ケラーの 1925 年の「盲人の騎士」となるようにとの呼びかけに応えてきました。私たちは視力ファーストの最初の 30 年間にとても多くのことを行ってきました。継続的な資金援助のもと、私たちは視力ファーストの伝統を引き継ぎ、視力保護の分野にさらに歴史的な変化を作り出していきます」と彼女は言います。

視力ファーストのような交付金プログラムを通じた LCIF からの支援もあり、視力保護におけるライオンズの活動のインパクトは非常に大きなものですが、その一方で、WHO（世界保健機関）の報告によれば、世界中の 22 億人以上が視力障害者または失明者であるとのこと。

「視力保護の分野における LCIF とライオンズの取り組みは、特にここ 30 年間、財団の視力ファースト・プログラムを通じて世界中の人々の人生を変えています」イングバドター氏は言います。「私たちは、LCIF が引き続きライオンズの奉仕を支援してくれることを大変ありがたく思っています。そして、私たちがこの重要なニーズに取り組み続けることができるよう、ライオンズやライオンズ以外の皆様には LCIF と視力ファーストへの支援をぜひ継続または開始していただきたいと思います。

LCIF 視力ファースト・プログラムの詳細については、lionsclubs.org/SaveVision をご覧ください。

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）について：

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）は、ライオンズクラブ国際協会の慈善部門です。1968 年の設立以来、LCIF は、ライオンズの思いやりに満ちた奉仕活動に交付金を提供することでライオンズの奉仕に力を与え、その地域と世界のコミュニティのニーズに応えています。LCIF は、慈善団体を評価する組織として米国で最も信頼されるチャリティ・ナビゲーターから毎年称賛に値する評価を受けていることを誇りに思っています。